

授業改善プラン

特別支援教科（ 家庭科 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは太字

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
全学年	知識・技能	・洗濯や掃除、食事など、生きていく上で必要な技能を繰り返し行うことで身に付ける。 ・個に応じた指導を行う。	・生きていく上で必要な技能をひと通り学習することはできた。しかし、習得したことが定着していないことも多いことが課題である。 ・個に応じた指導ができる時とできない時がある。	・引き続き、繰り返し学習を行う。 ・個に応じた指導ができない時には、予め他の教員に協力を依頼する。		
	思考力・判断力 表現力	・作業する前に、よく考えてから始められるようにする。 ・効率よく作業をするにはどのようにすると良いかを考えさせる時間をつくる。	・勢いで作業を始めることが多いことが課題としてあげられる。 ・「どうしたら効率よくできる？」と問うと考えることができるが、問われる前に自分で考えることには課題がある。	・視覚教材で手順を示すなど、作業が始まった後も手順を振り返ることができるようにする。 ・日頃から「効率性」を意識できるように声掛けし続ける。		
	主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く、繰り返し学習ができるような授業展開にする。	・好きなこと、興味のあることにおいては粘り強く、集中して取り組むことができている。しかし、苦手なことに対しては、集中力の持続が難しいことが課題である。	・苦手なことにも集中して取り組むことができるよう、同じ繰り返し学習でも少し内容を変える。		

カリキュラムマネジメントの視点から

家庭科は生きていく上で必要な教科であるため、あらゆる教科と連携していく。